

次世代自動車センター浜松 活動レポート Vol. 305

■ 車両分解調査活動

Kawasaki Ze-1 車両展示説明会及び試乗会（会員限定）

次世代自動車センター浜松では、会員企業の皆様が次世代自動車に搭載されている部品の試作製作ができるよう、車両分解調査活動などを通して次世代自動車技術に関する情報提供を実施しています。

今年度は、EV車両分解活動の一環として、昨年度に引き続いて中国製の「BYD ATTO 3」の分解調査を実施するとともに、電動二輪車のスポーツバイク「Kawasaki Ze-1」の分解調査を実施します。

今回は、会員企業の皆様に、今後、分解調査を実施する車両を理解していただくため、購入した「Kawasaki Ze-1」の車両展示説明会及び試乗会を開催しました。車両展示説明会では、当センターの望月センター長から車両の特徴やガソリン車との性能比較について解説するとともに、試乗会では、電動スポーツバイクの性能や走行状態などを体験していただきました。

■日 時： 2025年7月14日（月）10時～16時30分

■場 所： 交通教育センターレインボー浜名湖

■参加者： 37社／69名（説明会：35社/65名・試乗会：22社/36名）

<車両展示説明会>



<試乗会>



【参加者の声】

<車両展示説明会>

- ・E V車の特徴とガソリンエンジン車や既存のE V車の比較を学ぶことができ、とても貴重な経験となった。
- ・同じ車格のZ125との比較説明があり、わかりやすかった。
- ・Z125やCE04との比較表があり、違いがわかりやすかった。減速比や歯数の情報もありが良かった。
- ・仕様が対比表でわかりやすかった。HPでは入手しにくい情報が多く参考になった。
- ・BMW社についても川崎社についても、バッテリーの容量・体積・質量の改良が大きな課題であることを改めて感じた。
- ・バッテリー、外観の比較から、仕様などの変化がわかりやすく大変参考になった。冷却方法について、空冷を選定した理由を知りたい。
- ・カタログではわからない一次減速の構造や、バッテリー価格が参考になった。
- ・125ccクラスで今できる車両のイメージがわかった。
- ・今後市場専有率が高くなる二輪E V日本製ということで、全ての構成要素が理解できて良かった。
- ・試乗したバイクの説明を聞くのは良かった。減速時にギア鳴りしていたが減速構造も説明にあったので良かった。
- ・E V二輪について、まだまだ機種が少なく、分解を行っている所もなかなかないため、参考になった。
- ・E V車とガソリン車の比較を詳しくしていただき、理解を深めることができた。また、E V車同士の比較でも車種により様々な部分で違いがあることがわかった。
- ・構造や特徴、二輪車としての電動化の課題がわかった。

<試乗会>

- ・初めて二輪E Vに乗ってICEとの違いを知ることができた。
- ・存在すら知らなかったのもので、E Vバイクを知ることができた。
- ・電動二輪の試乗は初めてで、貴重な経験ができた。
- ・日系メーカーのE Vバイクに乗るのは初めての経験だった。ガソリン車との比較で特徴がわかりやすかった。
- ・E V二輪独特の機能や乗り心地、操作性などが体感できた。
- ・試乗する機会が無く、貴重な体験だと感じた。ガソリン車との比較が良かった。
- ・同じナンバー区分の車両で比較試乗できたのが良かった。
- ・E Vバイクの試乗自体がなかなか無いのでとても良かった。
- ・E G車との比較ができ、ドライバビリティ、パワー感の差がわかりやすいと感じた。
- ・E Vとガソリン車の乗り比べができ、全く別の乗り物のような感覚だった。
- ・E V車とガソリンエンジン車の特徴を比較することができ、非常に貴重な経験となった。
- ・E Vのトルク特性を体験できてとても参考になった。
- ・実際の走行音などを聞くことができた。
- ・E Vバイクの特性を実感でき、ガソリンエンジン車を直後に乗ることで違いをより強く感じることができた。
- ・ICEでは作れないウォークモードの便利さがわかった。
- ・電動バイクに乗ったことがなかったため、パワー感に大変驚いた。ウォークモードには開発側の親切さを感じた。
- ・モーター&MCV開発をしていてe-Boostや回生レベル、加速感など電動二輪のドライバビリティや音など参考になった。